

# 市のお金の使いみち

市では年2回、財政状況を市民の皆さんにお知らせしています。今月号では、平成25年度各会計決算状況(5・6ページ)と26年度各会計予算の上半期執行状況(7ページ)をお知らせします。

## 市の3つのお財布

田村市では市のお金を出し入れするために、3つのお財布を用意しています。

通常出し入れするお金は「一般会計」、そして特定の事業のために使う「特別会計」・「公営企業(水道事業)会計」です。

特別会計も9の仕切りで分かれていて、それぞれの目的以外には使わないことになっています。

## 一般会計の決算の状況は

25年度の一般会計の決算額は、歳入総額が337億7,631万9千円、歳出総額が320億2,887万7千円となり、差し引き額より26年度に繰り越した事業に充当した財源を差し引いた実質収支額は、9億9,175万4千円となりました。

## 市の財政状況の分析

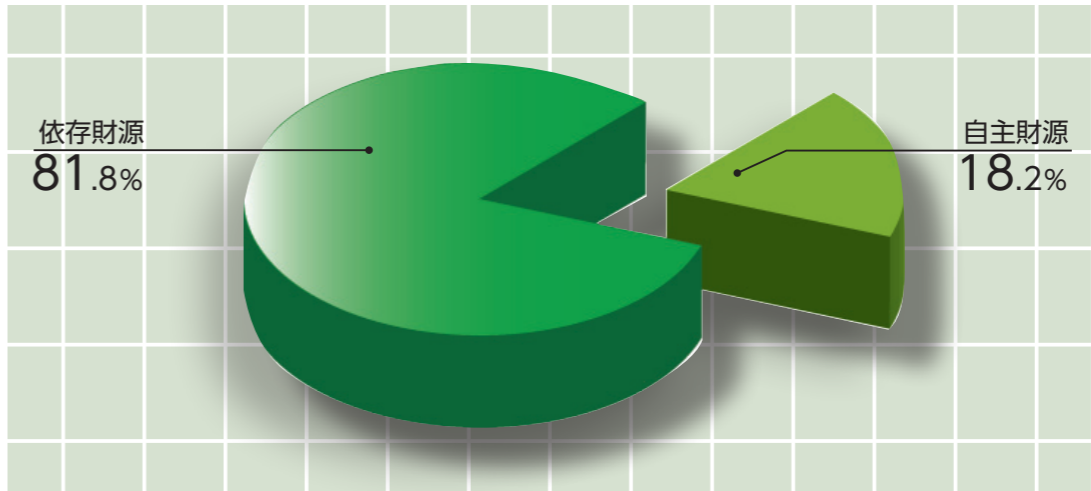
市に入ってくるお金(歳入)の中は2つの財源で成り立っています。

市が、自主的に収入できる市税や使用料、手数料などの自主財源と、これに対して、国や県から入るお金や借金でまかなう依存財源です。

市の一般会計歳入決算額に占める自主財源(市が自主的に収入できる市税や使用料、手数料など)の割合は18.2%と低く、地方交付税などに大きく依存している状態です。また、経常収支比率は88.8%、財政力指数は0.31と依然として財政の硬直化が進んでいます。

このような状況を踏まえ、なお一層の行財政改革、財源の確保、経費の節減などに努めながら「あぶくまの人・郷・夢を育むまち」はつつつ高原都市「田村市」の実現に向けた取り組みを進めていきます。

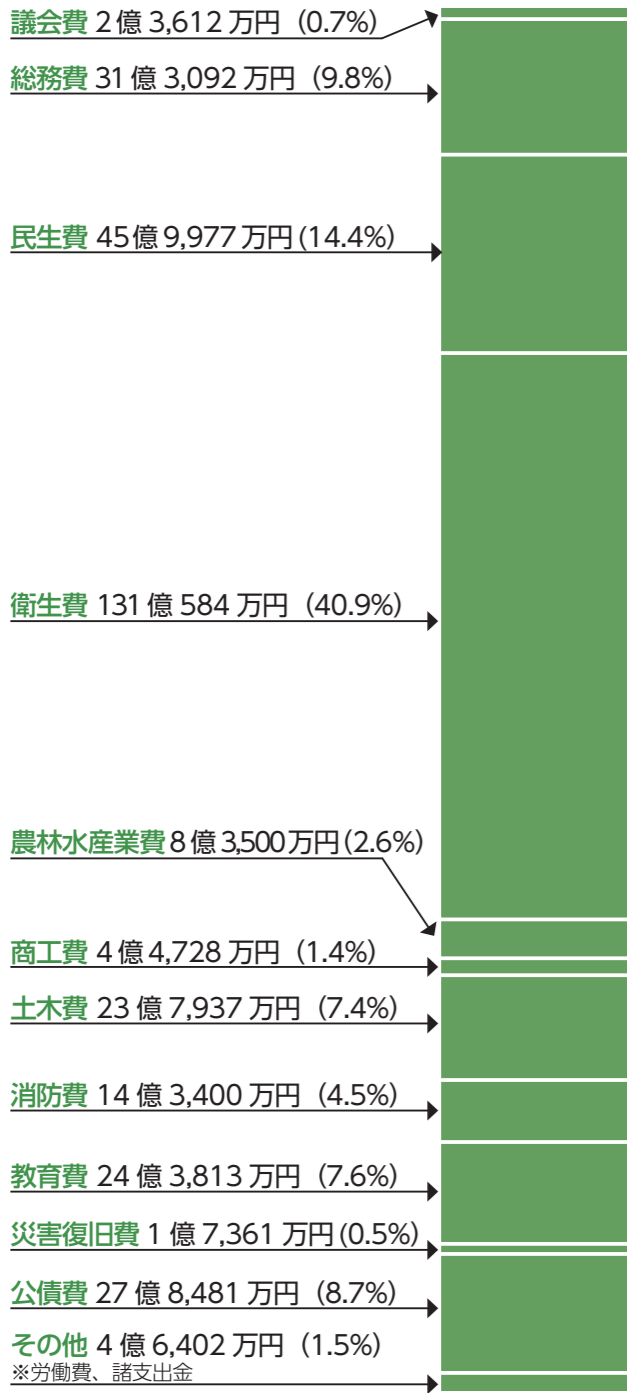
取り組みを進めていきます。



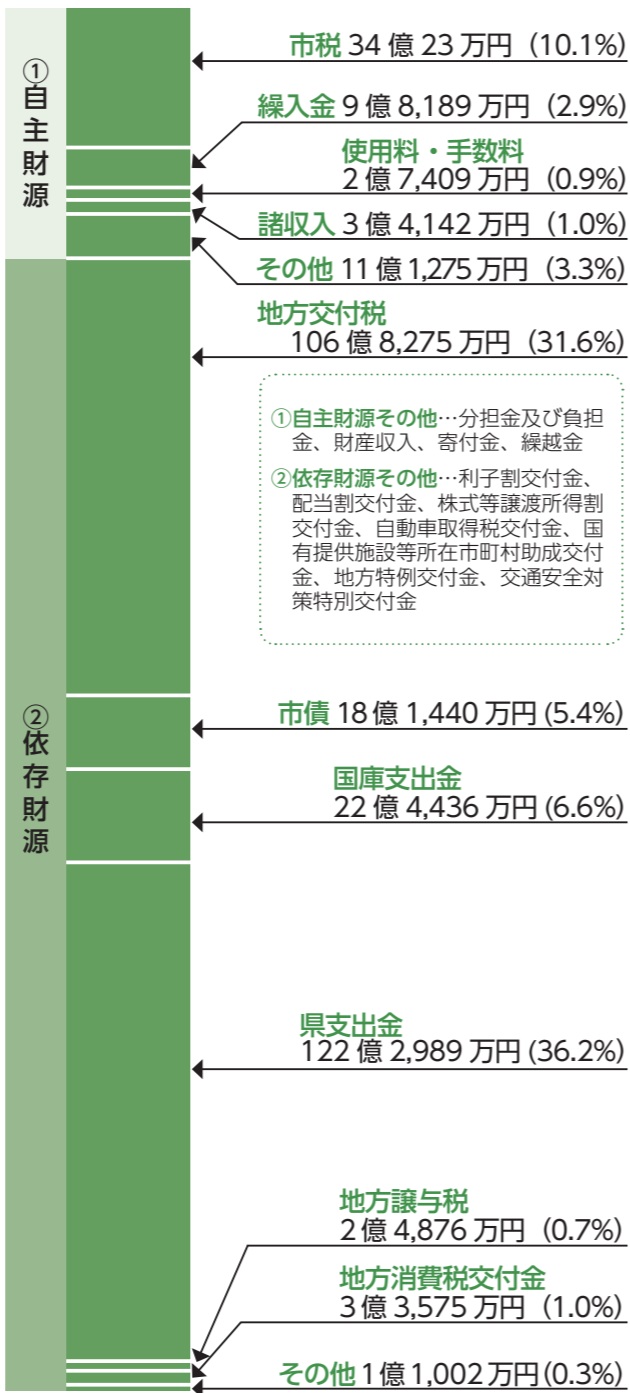
厳しい状況を踏まえ、引き続き健全な財政運営に努めます。

## 1 平成25年度 一般会計の決算額内訳

歳出総額 320億 2,887万円



歳入総額 337億 7,631万円



## 用語の解説

### 一般会計と特別会計

地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、福祉や教育、土木など市の行政運営のうち、一般的な事業の経費を処理する会計です。特別会計は、特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して経理する会計です。

### 歳入

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費をまかなうものが収入で、その団体の会計年度における一切の収入を歳入といいます。

- 自主財源：市税や使用料、手数料など市が自主的に収入できるお金
- 依存財源：地方交付税や国・県支出金、市債など、国や県から交付されるお金
- 市税：市民の皆さんから納めていただく税金
- 地方譲与税：所得税や自動車重量税などの国税の一部が譲与されるお金
- 地方消費税交付金：地方消費税の一部が交付されるお金
- 地方交付税：市の財政力に応じて国から交付されるお金
- 国庫・県支出金：特定の用途のために国や県から交付されるお金
- 繰入金：一般会計、特別会計、基金(市の預金)等の会計間で移動するお金
- 諸収入：市の預金の利子や貸付金の元利収入などのお金
- 市債：市の事業や国の施策により発行した借入金

### 歳出

上の棒グラフでは、市が行う事業に必要な経費を目的別に分類しています。行政サービスの水準や行政上の特色を知ることができます。

- 議会費：議会運営のための経費
- 総務費：行政全般の事務や庁舎などの維持管理に使われる経費
- 民生費：高齢者や障がい者、子育て支援、生活保護などのために使われる経費
- 衛生費：除染や放射線対策にかかる経費と、各種健診や予防接種、ごみ処理、ごみ減量化の推進などに使われる経費
- 農林水産業費：農林業の振興や農林道の整備、土地改良事業などに使われる経費
- 商工費：商業の振興や商工業金融対策、観光振興などに使われる経費
- 土木費：道路の整備や維持補修、河川の整備、都市計画、市営住宅管理などに使われる経費
- 消防費：広域消防組合負担金や消防団運営、消防施設の整備、災害対策などに使われる経費
- 教育費：幼稚園、小・中学校などの教育、文化、スポーツの振興などに使われる経費
- 災害復旧費：被災した公共施設を復旧する経費
- 公債費：学校や道路など、たくさんの費用がかかるものは借り入れをして建設を行います。この借入金(市債)を返済していくために使われる経費
- その他：他の支出科目に含まれない経費をまとめたもの。各種基金への積立金などがあります。